



Infor LN 調達 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	procrfqug (U9821)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
見積依頼処理の概要.....	7
見積依頼マスタデータ.....	7
見積依頼手順.....	7
見積依頼のオプション処理.....	8
第2章 手順.....	9
見積依頼の手順.....	9
見積依頼の作成と送付.....	9
見積依頼回答の受取、交渉、比較、および選択.....	10
第3章 基準セット.....	13
見積依頼の基準および基準セットの指定.....	13
第4章 スコア.....	15
基準の合計スコアの計算.....	15
納入時間.....	15
数量.....	16
販売業者評価.....	16
主観的基準.....	16
正味購買価格.....	17
正味入札者価格.....	17
正味価格.....	17
第5章 回答評価.....	21
見積依頼回答のランク.....	21
基準セットに基づくランク付け.....	21
価格に基づくランク付け.....	21
第6章 オプション処理.....	23
見積依頼 - オプション処理.....	23
見積依頼のコピー.....	23
見積依頼での輸入仕入原価.....	23

見積依頼での資材価格.....	23
見積依頼督促状の出力.....	24
不成立入札者へのレターの出力.....	24
プロジェクトペギング.....	24
発注先段階的支払の指定.....	24
見積依頼での外注品目.....	24
見積依頼履歴の表示、出力、および削除.....	25
付録A 用語集.....	27
索引	

文書情報

この文書では、見積依頼 (RFQ) の概要を紹介し、見積依頼手続きの機能とステップについて説明します。基準の定義、基準スコアの計算、応答のランク付けのプロセスについても詳しく説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	見積依頼の概要と、見積依頼マスターデータ、見積依頼手順、およびその他の処理の参照先
第 2 章	手順	見積依頼手順のステップ
第 3 章	基準セット	基準および基準セットの設定
第 4 章	スコア	基準スコアの計算
第 5 章	回答評価	スコアに基づく入札者の評価
第 6 章	オプション処理	見積依頼手順のその他の機能

参照

このガイドは、見積依頼の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 購買マスターデータユーザガイド U9817 JA
購買マスターデータの設定を理解するために使用します。
- 輸入仕入原価ユーザガイド U9675 JA
輸入仕入原価の設定および使用を理解するために使用します。
- 発注先段階的支払ユーザガイド U9819 JA
発注先段階的支払の設定および使用を理解するために使用します。
- 追加情報フィールドユーザガイド
追加情報フィールドの目的と使用方法を理解するために使用します。
- プロジェクトペギングユーザガイド U9777 JA
プロジェクトペギング機能を理解するために使用します。
- 外注ユーザガイド U9361 JA
外注機能を理解するために使用します。

- 予算管理ユーザガイド U9655 JA
予算管理機能を理解するために使用します。
- 購買要求ユーザガイド U9820 JA
購買要求手順を理解するために使用します。
- 購買オーダーユーザガイド U9824 JA
購買オーダー手順を理解するために使用します。
- 購買業者評価ユーザガイド U9823 JA
購買業者評価を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。この本をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいませうお願いいたします。

見積依頼処理の概要

見積依頼 (RFQ) 手順では、商品を調達する目的で入札者に見積依頼を送付できます。見積依頼では、品目に関する情報、数量、および要求された入庫日を指定できます。承認ソースリストに基づいて1社以上の入札者に見積依頼を送付できます。見積依頼回答の受領後、結果の交渉、比較、およびランク付けができます。受入れた回答は、購買契約、購買オーダー、または発注先価格帳にコピーできます。

見積依頼は、計画オーダー、要求、または購買契約から生成されます。これらはマニュアルでも指定できます。

見積依頼マスタデータ

見積依頼手順を実行するには、事前に次の操作を行います。

1. 購買パラメータ (tdpur0100m000) セッションの [見積依頼] チェックボックスをオンにします。
2. 見積依頼パラメータ (tdpur0100m100) セッションで、見積依頼パラメータを指定します。
3. 購買マスタデータを指定します。
詳細は、次の情報を参照してください: :
 - 品目購買データ
 - 購買組織データ
 - 一般購買データ
 - 見積依頼の基準および基準セットの指定 (ページ 13)

見積依頼手順

見積依頼手順には次の処理が含まれます。

- 見積依頼の作成および入札者への送付
- 入札者の回答の受取、交渉、比較、および選択

詳細は、次の情報を参照してください: 見積依頼の手順 (ページ 9)

見積依頼のオプション処理

多くの処理は、見積依頼手順で必ず発生するわけではありませんが、特定の状況では発生します。
詳細は、次の情報を参照してください: 見積依頼 - オプション処理 (ページ 23)

見積依頼の手順

見積依頼 (RFQ) 手順を使用すると、商品およびサービスの提供を入札者 (購買元取引先) に依頼できます。受け取った見積依頼回答 (入札) を比較して、要件に最適なものを選択できます。

次の見積依頼手順を使用できます。

- マニュアル見積依頼手順
この手順を使用して見積依頼をマニュアルで作成し、入札者に送付します。見積依頼の送付先の入札者をマニュアルで選択するか、または承認済発注先リストに基づいて選択することができます。
- 見積依頼の生成手順
この手順を使用して、見積依頼が自動的に生成され、入札者に送付されるようにします。見積依頼の作成および入札者への割当は、生成セッションのいずれかで実行します。

1つの品目の見積依頼を作成する場合は、マニュアル見積依頼手順を使用します。複数の品目および/または複数の品目グループの見積依頼を作成する場合は、見積依頼の生成手順の方が適しています。

見積依頼 (RFQ) 手順には、次のフェーズがあります。

1. 見積依頼の作成および入札者への送付
2. 入札者の回答の受取、交渉、比較、および選択

注意

見積依頼 (RFQ) ラインでは、品目コードを空白にすることができます。その結果、要求者は新しい品目の入札を要求できます。見積依頼ラインにリンクされている回答ラインの状況が [受入済] の場合、品目コードが必須になります。

見積依頼の作成と送付

ステップ 1: 見積依頼 (tdpur1600m000)

見積依頼 (tdpur1600m000) セッションを使用して、次の操作を行います。

- マニュアル見積依頼手順で見積依頼を作成する
- 見積依頼の生成手順で見積依頼を表示する

見積依頼の生成は、次のセッションのいずれかで行われます。

- 見積依頼の生成 (tdpur1220m000)
一定範囲の品目または品目グループについて見積依頼が生成され、見積依頼の送付先にする入札者を選択できます。
- 購買要求の変換 (tdpur2201m000)
購買要求ラインが見積依頼に変換されます。
- 契約に基づく見積依頼の生成 (tdpur3201m000)
購買契約ラインが見積依頼にコピーされ、見積依頼の送付先にする入札者をリンクできます。
- オーダの転送計画 (cppat1210m000)
オーダ計画で、計画購買オーダが調達に転送されます。品目の購買元取引先が検索されなかった場合、計画購買オーダを見積依頼に転送できます。

ステップ 2: 見積依頼入札者 (tdpur1505m000)/入札者の見積依頼への追加 (tdpur1221m000)

このステップは、マニュアル見積依頼手順にのみ適用されます。見積依頼の生成手順では、生成される見積依頼は選択された入札者に直接リンクされます。

マニュアル見積依頼手順では、次のようにして入札者を見積依頼にリンクできます。

- 見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションでマニュアルリンク
- 入札者の見積依頼への追加 (tdpur1221m000) セッションで自動リンク。オプションで、承認済発注先リストに基づくようにできます。

見積依頼 (tdpur1600m000) セッションの [入札者] タブに、見積依頼にリンクされている入札者が表示されます。

ステップ 3: 見積依頼の出力 (tdpur1401m000)

見積依頼が作成されて入札者がリンクされたら、見積依頼の出力 (tdpur1401m000) セッションで見積依頼を出力して、入札者に送付する必要があります。

見積依頼回答の受取、交渉、比較、および選択

ステップ 1: 見積依頼回答 (tdpur1506m000)

入札者から受け取る 見積依頼回答は、見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで指定できます。見積依頼回答には 1 つ以上の 回答ラインが含まれています。

ステップ 2: 見積依頼交渉 (tdpur1606m000)

オプションで、見積依頼交渉 (tdpur1606m000) セッションで入札者の 回答について交渉し、対案を指定することができます。

最新の交渉回答情報には価格、値引、および日付が含まれており、見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションと同期されます。対案情報は同期されません。

ステップ 3: 見積依頼比較回答 (tdpur1600m100)

見積依頼ライン、見積依頼入札者、および見積依頼回答の各セッションを使用して、見積依頼回答の比較とランク付けができます。

見積依頼比較回答 (tdpur1600m100) セッションで、状況が [回答済]、[交渉中]、または [受入済] である 回答ライン の比較とランク付けができます。このセッションは、変換に関して最良の回答を選択する上で役立ちます。見積依頼の 1 つのラインまたはすべてのラインについて、分析を実行できます。

回答ラインの比較とランク付けの基準は次のとおりです。

- 見積依頼に 基準セット が指定されている場合、客観的基準および主観的基準
- 価格および金額価格および金額には、輸入仕入原価 (入札者およびサードパーティ) を含めることができます。

注意: 価格および金額に基づく比較の場合、基準セットは不要ですが、基準セットの基準として価格を指定することもできます。

次のセッションを使用して、ランクを付けた回答ラインを見積依頼比較回答 (tdpur1600m100) セッションのタブとして表示できます。

- 見積依頼比較回答 (基準セット) (tdpur1511m000)
- 見積依頼比較回答 (価格) (tdpur1511m100)
- 見積依頼比較回答 (入札者グループの基準セット) (tdpur1511m200)
- 見積依頼比較回答 (入札者グループの金額) (tdpur1511m300)

詳細は、次の情報を参照してください::

- 見積依頼の基準および基準セットの指定 (ページ 13)
- 基準の合計スコアの計算 (ページ 15)
- 見積依頼回答のランク (ページ 21)

ステップ 4: 見積依頼の変換 (tdpur1202m000)

状況を [受入済] に設定して回答ラインの受入後、見積依頼の変換 (tdpur1202m000) セッションを使用して、回答ラインを、購買オーダー、購買契約、または価格帳に変換できます。

選択した回答ラインについて、次の方法でこのセッションを開始できます。

- 見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで適切なメニューの [見積依頼の変換] をクリックするこのコマンドは、[変換アクション] フィールドが [変換] に設定されており、かつ見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで [変換タイプ] フィールドが指定されている場合にのみ有効です。
- [変換] をクリックし、次に見積依頼比較回答 (基準セット) (tdpur1511m000)、見積依頼比較回答 (価格) (tdpur1511m100)、見積依頼比較回答 (入札者グループの基準セット) (tdpur1511m200)、または見積依頼比較回答 (入札者グループの金額) (tdpur1511m300) のセッションで適切なメニューの [オーダーに変換]、[契約に変換]、または [価格帳にコピー] をクリックする

ステップ 5: 見積依頼の削除 (tdpur1205m000)/未変換見積依頼回答の処理 (tdpur1223m000)

見積依頼の削除 (tdpur1205m000) セッションを使用して、期限切になっている、回答が返されていない、または入札者にリンクされたことのない見積依頼を削除します。

未変換見積依頼回答の処理 (tdpur1223m000) セッションを使用して、[変換アクション] が [無視] の回答ラインの処理、または [変換アクション] が [削除] の回答ラインの削除を行います。

注意

前のステップは、見積依頼 (tdpur8310m000) セッションを使用して実行することもできます。

見積依頼の基準および基準セットの指定

回答ラインは、見積依頼にリンクされている基準セットに指定の客観的基準と主観的基準に基づいて、比較とランク付けを行うことができます。

客観的基準は、Infor LN で追跡されます。一方、主観的基準はユーザが定義します。回答ラインを比較するときには、ユーザ定義の重要度を含む、見積依頼の客観的基準および主観的基準が考慮されて、回答ラインの合計スコアが計算されます。これにより、回答ラインのランク付けができます。

基準を使用して回答を評価するには:

1. 見積依頼基準セット (tdpur1190m000) セッションで、基準セットを定義します。基準セットは、見積依頼ヘッダにリンクできる見積依頼基準のリストです。この基準に基づいて回答が評価されます。
2. 見積依頼の主観的基準 (tdpur1191m000) セッションで見積依頼の主観的基準を指定します。客観的基準は Infor LN で事前定義されているため、見積依頼の主観的基準のみを指定する必要があります。
3. 基準セット別見積依頼基準 (tdpur1192m000) セッションで、必要な基準を基準セットにリンクして基準セットを定義します。基準に重要度を割り当てて、さまざまな基準の重要性を指定する必要もあります。
4. 基準タイプが [数量]、[納入時間]、および [主観的] の場合、見積依頼基準スコア体系 (tdpur1193m000) セッションで値を指定し、値にスコアを割り当てます。客観的基準にスコア体系を指定しない場合、事前定義のシステム値が使用されます。
5. 入札者の回答を受け取った後、見積依頼回答 - 主観的基準スコア (tdpur1195m000) セッションで主観値を回答にリンクします。客観的基準が計算されます。

備考

- 見積依頼基準セット (tdpur1690m000) セッションを使用して、基準とスコア体系がリンクされた基準セットを指定することもできます。
- 価格および金額に基づく比較の場合、基準セットは不要です。ただし、基準セットの基準として価格を指定することもできます。
- 関係する入札者が販売業者評価の対象に選択されている場合、回答を比較するときに販売業者評価も考慮されます。

基準の合計スコアの計算

見積依頼 (RFQ) を入札者に送付した後、入札者から受け取った見積依頼回答にランクを付けることができます。回答ラインをランク付けするには、事前に各回答ラインの合計スコアを計算する必要があります。

注意

見積依頼にリンクされている基準セットに指定済の各基準について、スコアが計算されます。見積依頼に基準セットが指定されていない場合、スコアは計算されません。回答ラインの比較とランク付け (価格と金額に基づく) は可能ですが、スコアは計算されません。

[数量]、[納入時間]、および [主観的] の基準タイプのスコアを計算するには、見積依頼基準スコア体系 (tdpur1193m000) セッションを使用します。[正味購買価格]、[正味入札者価格]、[正味価格]、および [販売業者評価] のスコアは、スコア体系のセッションでは指定されません。価格関連のスコアは、状況が有効で、最低価格の回答ラインに基づきます。

[主観的] 基準の場合、入札者の回答を受け取った後に見積依頼回答 - 主観的基準スコア (tdpur1195m000) セッションで、主観値を回答にマニュアルでリンクします。

回答ラインの合計スコアを計算するときに、重要度も考慮されます。基準セット別見積依頼基準 (tdpur1192m000) セッションを使用して、基準セット内の基準に重要度を割り当てることができます。

納入時間

基準タイプの [納入時間] の合計スコアは、見積依頼ラインと回答ラインとの納入時間の差に基づいて計算されます。

納入時間の差は、次の方法で計算されます。

- 見積依頼の計画在庫日 - 回答の計画在庫日
- 見積依頼リードタイム - 回答リードタイム
- (見積依頼開始日 - 回答開始日) + (見積依頼終了日 - 回答終了日)

時間差に関する値とスコアが見積依頼基準スコア体系 (tdpur1193m000) セッションから取得されます。

マイナスの値は、入札者が予測する納入時期が見積依頼ラインに指定されている要求時期よりも遅いことを意味し、低いスコアを示します。プラスの値は、入札者が予測する納入時期が見積依頼ラインに指定されている要求時期よりも早いことを示します。

納入時間の合計スコアの計算方法:

$$DW \times \text{取得した納入時間差スコア} \div 100$$

数量

基準タイプの [数量] の合計スコアは、見積依頼ラインと回答ラインとの数量差異に基づいて計算されます。

数量差異の計算方法:

$$(\text{見積依頼数量} - \text{回答数量}) \times 100$$

数量差異に関する値とスコアが見積依頼基準スコア体系 (tdpur1193m000) セッションから取得されます。

プラスの値は、回答ラインの数量が所要数量よりも少ないことを示し、低スコアを意味します。マイナスの値は、回答ラインの数量が見積依頼ラインの数量よりも多いことを示します。

数量の合計スコアの計算方法:

$$QW \times \text{取得した数量差異のスコア} \div 100$$

販売業者評価

基準タイプの [販売業者評価] の合計スコアは、販売業者評価に基づいて計算されます。

販売業者評価割合が期間別販売業者評価 (tdpur8102m000) セッションと基準別販売業者評価 (tdpur8102m100) セッションから取得されます。

販売業者評価の合計スコアの計算方法:

$$VW \times \text{販売業者評価} \div 100$$

主観的基準

基準タイプの [主観的] の合計スコアは、主観的基準に基づいて計算されます。

見積依頼基準スコア体系 (tdpur1193m000) セッションで基準の主観値とスコアを指定できます。

回答ラインの状況が [回答済] に設定されると、見積依頼回答-主観的基準スコア (tdpur1195m000) セッションで見積依頼基準セットの主観的基準が作成されます。主観値を回答ラインの主観的基準にマニュアルでリンクします。

合計スコアの計算方法:

$$SW \times \text{取得した主観値のスコア} \div 100$$

正味購買価格

基準タイプの [正味購買価格] の合計スコアは、提示された正味購買価格に基づいて計算されます。

最安回答の正味 [購買価格] と現在の回答の正味 [購買価格] が見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションから取得されます。最安回答価格は、ある見積依頼に関して、選択されているすべての入札者の提示価格のうち最安値です。現在の回答価格は特定の入札者の価格です。

合計スコアの計算方法:

$$NPPW \times ((\text{最安回答の正味購買価格} \div \text{現在の回答の正味購買価格}) \times 100) \div 100$$

正味入札者価格

基準タイプの [正味入札者価格] の合計スコアは、提示された正味入札者価格 (入札者の輸入仕入原価を含み、サードパーティの輸入仕入原価を含まない) に基づいて計算されます。

最安回答の [正味入札者価格] と現在の回答の [正味入札者価格] が見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションから取得されます。最安回答価格は、ある見積依頼に関して、選択されているすべての入札者の提示価格のうち最安値です。現在の回答価格は特定の入札者の価格です。

合計スコアの計算方法:

$$NBPW \times ((\text{最安回答の正味入札者価格} \div \text{現在の回答の正味入札者価格}) \times 100) \div 100$$

正味価格

基準タイプの [正味価格] の合計スコアは、提示された正味入札者価格 (入札者とサードパーティの輸入仕入原価を含む) に基づいて計算されます。

最安回答の [正味価格] と現在の回答の [正味価格] が見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションから取得されます。最安回答価格は、ある見積依頼に関して、選択されているすべての入札者の提示価格のうち最安値です。現在の回答価格は特定の入札者の価格です。

合計スコアの計算方法:

$$NPW \times ((\text{最安回答の正味価格} \div \text{現在の回答の正味価格}) \times 100) \div 100$$

凡例

DW	納入時間の差の重要度
QW	数量差の重要度
VW	販売業者評価の重要度
SW	客観的基準の重要度
NPPW	正味購買価格の重要度
NBPW	正味入札者価格の重要度
NPW	正味価格の重要度

例

次の基準、値、スコア、および重要度が、見積依頼にリンクしている基準に指定されています。

基準タイプ: [納入時間]

基準タイプ: [主観的]

重要度: 10

重要度: 45

納入時間	スコア	色	スコア
時間内	100	赤	25
1 日前	75	黄色	20
1 日後	75	青	15
その他	25	緑	3

回答ライン

- 入札者 A の回答 1
納入時間: 時間内
- 色: 緑
- 入札者 B の回答 2
納入時間: 1 日後
- 色: 黄色

回答ラインの合計スコアは次の方法で計算されます。

- 入札者 A の回答 1
 $100 \times 10 \div 100 = 10$
- $3 \times 45 \div 100 = 1$
- 合計スコア = 11
- 入札者 B の回答 2
 $70 \times 10 \div 100 = 7$
- $20 \times 45 \div 100 = 9$
- 合計スコア = 16

したがって、回答ライン 2 は回答ライン 1 より高いランクになります。

注意

合計スコアが計算された後、回答にランクを付けることができます。詳細は、次の情報を参照してください: 見積依頼回答のランク (ページ 21)

見積依頼回答のランク

見積依頼回答には、合計 (基準) スコアおよびラインの価格に基づいてランクが付けられます。

注意

価格および金額に基づくランク付けは常に実行されます。基準セットおよび基準スコアの計算に基づくランク付けは、見積依頼に基準セットが指定されている場合にのみ実行されます。

基準セットに基づくランク付け

見積依頼に基準セットが指定されている場合、基準セットに指定済の各基準についてスコアが計算されます。次のセッションで、回答ラインまたは入札者の合計スコアに基づくランク付けを表示できます。

- 見積依頼比較回答 (基準セット) (tdpur1511m000)
比較する各回答ラインについて、基準セット別にスコアが表示されます。ラインのランク付けは、各ラインの合計スコアに基づきます。
- 見積依頼比較回答 (入札者グループの基準セット) (tdpur1511m200)
各入札者について、基準セット別にスコアが表示されます。ラインのランク付けは、各入札者の合計スコアに基づきます。[すべてのラインを含む] チェックボックスがオンの場合、入札者はすべての要求品目に回答しています。すべての品目に回答している入札者のランクは高くなります。

スコアが高いほど、ランクが高くなります。

価格に基づくランク付け

回答ラインは常に、価格と金額に基づいて比較とランク付けが行われます。次のセッションで、回答ラインの合計価格または入札者の合計金額に基づくランク付けを表示できます。

- 見積依頼比較回答 (価格) (tdpur1511m100)
比較する各回答ラインについて、[正味価格]、[正味入札者価格]、および [正味購買価格] が表示されます。デフォルトでのラインのランク付けは正味価格に基づきますが、これは修正できます。
- 見積依頼比較回答 (入札者グループの金額) (tdpur1511m300)
各入札者について、合計価格を変換した金額が表示されます。異なる見積依頼ラインでは単位が異なることがあるので、回答は金額に基づいて比較されます。デフォルトでのライ

ンのランク付けは正味金額に基づきますが、これは修正できます。[すべてのラインを含む] チェックボックスがオンの場合、入札者はすべての要求品目に回答しています。すべての品目に回答している入札者のランクは高くなります。

価格が低いほど、ランクが高くなります。

注意

これらのセッションは、見積依頼比較回答 (tdpur1600m100) セッションのタブとして表示されません。

見積依頼 - オプション処理

多くの処理は、見積依頼手順で必ず発生するわけではありませんが、特定の状況では使用されません。

次の処理があります。

- 見積依頼のコピー
- 見積依頼での輸入仕入原価
- 見積依頼での資材価格
- 見積依頼督促状の出力
- 不成立入札者へのレターの出力
- プロジェクトペギング
- 発注先段階的支払の指定
- 見積依頼での外注品目
- 見積依頼履歴の表示、出力、および削除

見積依頼のコピー

見積依頼のコピー (tdpur1201s000) セッションで既存の見積依頼を新しい見積依頼にコピーできます。

見積依頼での輸入仕入原価

すべての調達原価を正しく把握できるように、購買価格だけでなく、輸入仕入原価も見積依頼にリンクできます。見積依頼回答の比較時に、これらの輸入仕入原価を考慮できます。

見積依頼での資材価格

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格設定マスターデータの設定後に資材価格情報を取得し、回答ラインの資材価格を計算できます。

リンクされた資材価格情報は、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで表示できます。

見積依頼督促状の出力

回答日までに入札者から回答を受け取れなかった場合、入札者に督促状を送付することができます。督促状は見積依頼督促状の出力 (tdpur1402m000) セッションで出力できます。

見積依頼督促状の出力 (tdpur1402m000) セッションで督促状を出力するには、見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションで [督促状況] が [注意] である必要があります。

不成立入札者へのレターの出力

不成立入札者へのレターの出力 (tdpur1410m000) セッションを使用すると、入札者の見積依頼回答が承認されない場合に入札者に知らせることができます。

備考

入札者のレターは、見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションで [入札感謝状] チェックボックスがオンになっている場合にのみ出力できます。

プロジェクトペギング

調達のプロジェクトペギングには、購買要求、見積依頼、および購買オーダのプロジェクト原価のペギングが含まれます。要求、見積依頼、または購買オーダの品目でペグが必要な場合は、ペグ配分をこれらの購買オブジェクトにリンクする必要があります。ペグ配分では、親ビジネスオブジェクトの所要数量が、プロジェクト/予算、プロジェクト要素、および/またはプロジェクト活動の組合せの配分ラインに配分されます。たとえば、購買オーダラインのオーダ数量をペギングするために配分を使用する場合、商品の購買および原価の記帳は、これらのプロジェクト、要素、および活動を対象に行われます。

発注先段階的支払の指定

発注先段階的支払によって、顧客は購買オーダでオーダした商品が実際に在庫する前でも後でも、発注先に支払うことが可能になります。支払は一定期間にわたって行い、その総額を特定の日付に発注先に支払う必要があります。購買オーダ品目の請求フローは、その商品フローからは切り離されています。

発注先段階的支払は、長い納期、高価値、多くの設計、および固定価格といった特徴を持つ品目の場合に有用です。発注先が商品の在庫前に特定のタスクを完了する必要があるような場合に（たとえば設計文書やテスト結果の提供など）、その日付およびイベントを段階的支払に含めることができます。見積依頼回答に関して、発注先段階的支払 (tdpur5120m000) セッションで段階的支払ラインを指定し、変換中に購買オーダラインにコピーすることができます。

見積依頼での外注品目

作業外注の場合、見積依頼要求に外注サービス品目、または資材供給情報がリンクされた [購買] 品目や [製造] 品目を含めることができます。これらの見積依頼は、工順作業または製造オーダがリンクされている購買要求から生成することができます。外注サービスは、マニュアルでも見積依頼に指定できます。

サービス外注の場合、見積依頼に [原価] 品目や [サービス] 品目、または資材供給情報がリンクされた [購買] 品目や [製造] 品目を含めることができます。これらの見積依頼は、作業オーダまたはサービスオーダがリンクされている購買要求から生成することができます。

見積依頼履歴の表示、出力、および削除

見積依頼パラメータ (tdpur0100m100) セッションで [見積依頼履歴を自動更新] チェックボックスがオンの場合、次のようなセッションで見積依頼履歴情報を確認できます。

- 見積依頼履歴 (tdpur1550m000)
- 見積依頼ライン履歴 (tdpur1551m000)
- 見積依頼入札者履歴 (tdpur1555m000)
- 見積依頼回答履歴 (tdpur1556m000)

見積依頼履歴を出力するには、見積依頼履歴の出力 (tdpur1450m000) セッションを使用します。

履歴情報が不要になった場合、見積依頼履歴のアーカイブおよび削除 (tdpur1204m000) セッションを使用して履歴データを削除できます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

作業

品目を製造するために連続的に実行される工順の一連のステップの 1 つ

次のデータは、工順作業時に収集されます。

- タスク。切断など
- タスクを実行するために使用される機械 (オプション)。切断機など
- タスクが実行される箇所 (ワークセンタ)。木工作业など
- タスクの実行に必要な従業員数

このデータはオーダーリードタイムの計算や製造オーダーの計画、標準原価計算に使用されます。

作業外注

品目の製造工程における 1 つまたは複数の作業が外注先に委託されます。

外注サービス

外注作業を記録するための補助品目コード。このタイプの品目は、管理品目にも所属します。これらの品目は、外注費を記録するために使用する非物理的な品目です。

サービス外注

品目のサービス関連の作業を別の会社に割り当てます。メンテナンスまたは修理プロセス全体を割り当てる場合と、その一部だけを割り当てる場合があります。サービス外注には、資材フローサポートを使用する場合と使用しない場合があります。

発注先価格帳

標準の購買価格帳で、以下を保存します。

- 購買元取引先、出荷元取引先、またはその両方による、品目のデフォルトの購買価格
- 見積依頼回答からコピーされた価格
- デフォルトの品目の価格

サービスオーダー

顧客サイトまたは会社で示されているとおりに、構成に対するすべての修理とメンテナンスを計画、実行、および管理するためのオーダー

作業オーダー

品目に対するメンテナンス工場または修理工場でのすべてのメンテナンスを計画、実行、および管理するために使用するオーダー。作業オーダーは、少なくとも1つの作業オーダーヘッダで構成され、修理可能なサービス品目に対して実行する必要がある複数の活動を含むことができます。

製造オーダー

指定された納期で指定された数量の品目を製造するオーダー

輸入仕入原価

納入および倉庫への入庫までの品目の調達に関連付けされたすべての原価の合計。輸入仕入原価には、通常輸送費、保険費用、関税、および処理費用が含まれます。

輸入仕入原価は複数の輸入仕入原価セットの一部とすることができます。

見積依頼回答

見積依頼への回答。入札が記載された1つ以上の回答ラインを含んでいます。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

発注先段階的支払

顧客から発注先に一定期間にわたって行われる分割払。段階的支払を使用すると、顧客は、品目を実際に受け取る前または受け取った後に品目について支払を行うことができます。品目の請求フローは、その商品フローから分離されます。

略字: SSP

販売業者評価

特定の基準による、発注先の分類。これらの基準は、納入 (時間どおり、十分な数量など) および他の要素を基準にすることができます。

資材価格

資材の価格。以下場合があります。

- 資材基準価格 (資材実際価格が (まだ) 適用されない場合)
- 次の構成要素の合計: 資材基準価格 + 資材価格付加費用 + 資材価格付加費用原価 (資材実際価格が適用される場合)

主観的基準

基準に割り当てたユーザ判断 (主観値) に基づいて計算されるスコアおよび評価の基準

主観的基準は販売業者評価において考慮されます。

ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

SSP

次を参照してください: 発注先段階的支払 (ページ 28)

見積依頼 (RFQ)

(いくつかの) 製品の納入について、入札者に条件 (価格、値引、納入時間、および支払条件など) の提出を要求するために使用する購買伝票

見積依頼は複数の入札者に送付することができます。入札者は、指定品目の見積依頼回答を提出できます。

回答の記録、交渉、およびさまざまな入札者から提示された価格と値引の比較を行うことができます。

受け入れられた回答は、契約、オーダー、価格帳にコピーできます。

承認済発注先リスト

特定品目の納入が承認済である購買元取引先のリスト

購買契約ライン

特定品目についての発注先との合意。購買契約ラインには、一定期間の 1 つの品目の供給に関する取引条件およびロジスティック条件の両方が含まれます。

法人購買契約の場合、購買契約ラインは [合計] ラインです。これは購買契約ライン詳細にリンクされているからです。

見積依頼 (RFQ) ライン

見積依頼 (RFQ) において、所要数量、納入時刻、納入倉庫などの品目詳細を含むライン

この品目ラインが入札者に送られます。入札者は各品目について個別に回答できるだけでなく、所要品目の代替品目を提案できます。

回答日

入札者が見積依頼への見積依頼回答を提出できる最終日

回答ライン

見積依頼ラインへの回答であり、その[見積依頼ライン](#)への入札者の入札が含まれています。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

見積依頼入札者

入札者 (購買元取引先) に対する商品およびサービスの提供依頼

見積依頼基準セット

見積依頼 (RFQ) 基準を含み、見積依頼ヘッダにリンクできます。回答ラインは、基準セットの客観基準と主観基準に基づいて比較され、ランク付けされます。

主観値

主観値は、販売業者評価の質問状および見積の評価に関して簡単に利用できる評価スケールをユーザに提供する目的に使用されます。主観値にスコアおよび重要度を割り当てることができます。

重要度

基準タイプが比較スコアに影響する割合。基準セット内の他の基準と比較して、その基準の重要度を表します。

索引

適切なメニュー, 27
作業, 27
見積
 比較, 15
 評価, 15
作業外注, 27
外注サービス, 27
サービス外注, 27
プロジェクトペギング, 24
発注先価格帳, 27
サービスオーダー, 28
作業オーダー, 28
製造オーダー, 28
督促, 24
輸入仕入原価, 28
基準
 客観的, 15
 合計スコアの計算, 15
 合計スコア値の計算, 21
 指定, 13
 主観的, 15
見積依頼, 9
 オプション処理, 23
 概要, 7
 基準, 15
 資材価格, 23
 処理, 7
 督促状の出力, 24
 輸入仕入原価, 23
 履歴, 25
見積依頼回答, 28
 ランク, 21
 不成立入札者, 24
ランク, 21
発注先段階的支払, 24, 28
不成立入札者, 24
販売業者評価, 28
資材価格, 28
主観的基準, 28
ペグ, 29
SSP, 28
見積依頼 (RFQ), 29
承認済発注先リスト, 29
購買契約ライン, 29
見積依頼 (RFQ) ライン, 29
回答日, 29
回答ライン, 29
見積依頼入札者, 29
見積依頼基準セット, 30
主観値, 30
重要度, 30
基準セット
 指定, 13
